

マネ協

題字 杉村春子

一般社団法人
 日本芸能マネージメント事業者協会
 〒160-0022 東京都新宿区新宿
 1-24-7 ルネ御苑プラザ 309
 TEL. 03 (3225) 5984
 FAX. 03 (3225) 5949
 E-mail: manekyo@manekyo.com
 http://www.manekyo.com

■発行日 平成22年3月25日
 ■発行人 山崎 讓
 ■編集人 守屋 俊郎
 ■印刷 谷本 企画

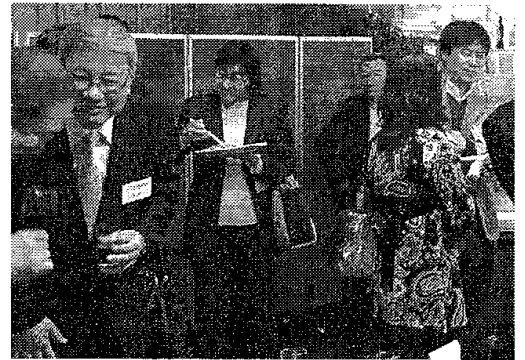
M A N A G E M E N T R E P O R T

恒例の「マネ協新年会」で2010年も明けました。



和気あいあいと懇談

昨年に引き続いて表参道「ベニレベニーレ」で会員社と関連各社からの合わせて約140名の多数の出席のもと、正月らしい華やぎと賑々しい雰囲気で大いに催された。理事・監事が会場正面の左右に居並ぶ中、山崎讓理事長が決意も新たかな新年のご挨拶を申し上げた。



ご挨拶に余念のない副理事長

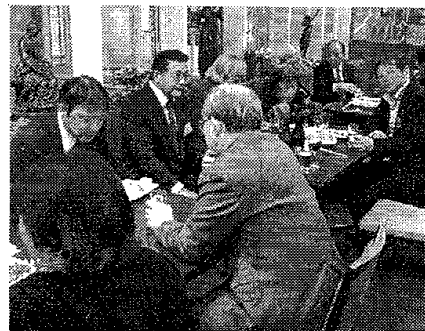
正月らしいアトラクションで楽しんで頂こうと、鳩山幸総理夫人の物まねで人気を博している“なかじままり”さん（株式会社仕事所属）にパフォーマンスをお願いしたが、期待通りの反響で笑いに次ぐ笑いでお客さんに喜んでいただいた。



アトラクションのなかじままりさん



この視線の先は…アトラクション?



「ふわふわ、次回はこんな企画で如何でしょう?」



「いつ来てもマネ協の新年会は盛況ですな、ハッハッハッ」

■新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

(株)アーツビジョン
 (株)アイムエンタープライズ
 (株)青二プロダクション
 (株)アクセント
 (有)イエローテイル
 (有)岩淵ぐるうぶ
 (株)プロダクション・エース
 (株)エヌ・エル・ティー

(株)エム・アール
 M.M.P
 (株)円企画
 (有)オフィス薫
 (株)さち子プロ
 (株)オフィスCHK
 (株)シングマ・セブン
 (株)仕事

(株)ジュネス企画
 (有)スターダス・2 1
 劇団昴
 青年座映画放送(株)
 (有)プロダクション・タンク
 (株)テアトル・エコー
 東京俳優生活協同組合
 (株)同人舎プロダクション

(株)トライサム
 (株)オフィス野沢
 (有)ファイブ エイト
 プランニング・メイ(有)
 (株)放映新社
 (有)オフィスもり

役員 の 22 年度 抱負

理事長 山崎 讓

新しい年を迎え3ヶ月が過ぎますが、経済状況は依然として良くならず、上昇していく気配は向にみえてきません。我々業界においてもドラマ映像、演劇、アニメ、映画等、すべての分野において制作作品が増加する傾向にありませぬ。仕事が減少してゆく中で、各社の経営の厳しさ、営業するマネージャー諸氏の苦勞は計り知れない感があります。我々としては、この大変な時代に対応できるマネ協に変貌すべく、新しい力強い組織作りを模索しております。

今年度は長期間続いてきましたシステムに変更が出てきました。協会外では放送番組において民放4社(フジテレビ以外)とのラック交渉が各社対応となり、最低ギャランは共通であるが、個々の事務所が各民放4社と交渉していく方法を進めて行くことに変わりました。音声関連は、大きな変化があります。マネ協で行ってきた新人登録制度に対して法的問題が指摘され、マネ協では行われず、日俳連に登録することになりました。

又、放送番組二次利用においては、今までそれぞれの団体対応でしたが、音楽事業者協会(音事協)、音楽制作者連盟(音制連)、芸団協の三団体が手を組み、当初はネット配信の共通窓口となる映像コンテンツ権利処理機構を結成し、4月から開業予定です。マネ協は理事として参加致します。各事務所、団体、より一層歩調を合わせ、進化に対処すべき時代になったと思えます。協会内においては、理事の方々の活動だけではなく、会員各社に委員会に参加して頂き、協会を活性化していきたい。全会員の皆様に、入会した意義を感じて頂ける組織に強化していく所存でございます。

新年度も皆様の協力を得まして協会運営を活発に行い、会員を増やす努力を続け業界の発展に寄与していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副理事長 小野 伸一

「勉強しなけりや」
リーマンショック以来、すっかり景気は冷え込んでしました。テレビ局は制作費を削減し、各プロダクションはその直撃をもちに受けてしまった形だ。ただでさえ仕事量が減っているのに「泣きつ面に蜂」だ。

テレビの広告費がネットに流れているという。紅白歌合戦のネット配信を某音楽事務所がOKしたと聞いた。ネットという大きな流れがかたくなにネット配信を拒絶していたプロダクションを動かした形だ。また音事協が音頭を取って「映像コンテンツ権利処理機構」を立ち上げた。当面はネットの二次利用の権利処理を行うが、ゆくゆくは映像全般の権利処理を行う予定という。2011年には地上デジタル放送が本格的に始動する。チャンネルも増えるし、アナログ波の跡地も次の展開に向けて、各社が参入している。テレビ(放送)とパソコン(通信)が融合して新しいメディアも出来るだろう。

業界を取り巻く環境が劇的に変わろうとしている。俳優の代理人である我々マネージャーも時代に合わせ、新しいコンテンツの流通や制度、法律を勉強しなければならぬ。マネ協が何かしてくるのを待つのではなく、マネ協を利用して、時代を探り、我々の意見を発信しなければならぬ。それが今、我々に求められているような気がする。

理事(対内委員長) 守屋 俊郎

「斬新な事業の展開で財源不足の解消を」
対内委員会は総務的な様々な事業、日常的な雑事に対処することをはじめ特に重要な業務としては、組織運営のための基盤の整備を常に行い、それらを活用した活動を通じて加盟事業者に利益をもたらすことを責務とすることだと思ふ。しかし、ここ数年の委員会活動が、内外に対して積極的な行動、それなりの組織性を示し得たかとなると掛け声ばかりが先行して実り少なく、反省頻りである。そればかりか加盟社数こそ目立って減じてはいるが不景気による営業成績の低迷や団体内分裂などによる組織の弱体化がしばしば指摘される。決して甘受できる現状ではない。

そこで、活動目覚ましい同業他団体や関連団体とみると、理事会の強力なリーダーシップ、必要十分な資金、実務を行う優秀な人材といった三位が見事に機能して、目を眩るばかりの成果を上げている。その点、マネ協は、残念ながら事務局員が一人ゆえ日常業務にのみ動かしざるを得ないのが実状で、それゆえ理事もまた非力を反省しつつリーダーシップを発揮する環境に無い。この現状には幾つかの理由があげられようが、最大の理由は財政に起因すると私は思う。

今や、マネ協は正念場にあるのだと認識で、抜本的な組織改革、斬新な事業計画にただちに取り組まなければ現在の危機的状況から抜け出せないのではないかと私は思う。そのためには何を必要とするか、十分な活動資金を得るための環境の再整備を行い、

そのうえでマネ協にとって有効かつ団体に見合った事業を展開し、活発にしてパワーに溢れた魅力ある団体をあらためて作り上げるべきと私は考える。委員会内で揉みこんで後、理事会に諮って速やかに実行に移したい。

理事(オーディオ委員委員長) 町田 泉

新アニメ協定による規定がスタートして、早いものでもう一年が経とうとしています。会報や拡大オーディオ部会にてその都度ご説明をしておりますが、旧動画連盟と結ばれていた規定との大きな変更点は、再放送使用料に替わる「報酬II」の徴収が始まったという事です。規定では、音声連合会員の作品が音声連に作品登録された作品でなければ出演できない事になっておりますが、今迄その対象は「放送用作品」のみでした。しかし、今後は「動画の全作品」が対象になりますので、ご注意下さい。

尚、4月から改訂される「外画動画出演実務運用表」により、「外画作品全作品登録制」もスタートします(4月9月迄の半年間は、移行期間につき音声連非加盟の制作会社も登録料免除。会員の皆様と、ごこの新制度のご理解とご協力をお願い致します。又、新人登録制度の管理が、マネ協から日俳連へ移行されます。それによつて、マネ協非加盟の事務所は日俳連賛助会員となつた上、更に新人一人につき登録料・年会費の4000円(3年分)が必要となりまして、しかし、マネ協会員については登録料のみとなり、それらマネ協で負担する等、会員には一切負担のない様にすることが、理事会にて承認されております。

私は今後とも、マネ協の会員にとつてのメリットを第一優先に考え、実務調整委、運用委員会の委員の一人として、業界の活性化とマネ協の地位向上に向け、微力ながら尽力して行く所存です。会員の皆様、何卒宜しくお願い申し上げます。

理事 映像演劇委員長 中根 敏晴

何で今までやらなかったのでしょうか、情報交換会、情報の出所の問題でしょうか、或いは折角得た情報を同業者に教えないというマネージャー気質のせいでしょうか。ところが、これがやってみると中々な繁盛ぶりなのです。これも別にどうして事なしてもしよその胸が違ふんだかどうして事なしてもしよその、熊野・水城副理事の広い心から実現したので、まだまだ理想形とは言えませんが、まずはやってみて正解だったと思ひます。

又、今期から全プロダクションが何処かの委員会に

所属してもらう事になり、当委員会もかなりの人数が集まっております。プロデューサーを呼んで講演・飲食等の企画、又は理事同士ではなく委員会全員の意見を聞き、それによつて新たな映像演劇委員会の方向性を決めてゆくべきではないでしょうか。

理事 朝田 孝二

「二期目の抱負」
マネ協の理事として二期目を勤めさせていただき御信任を賜りました、俳優の朝田孝二でございます。御支持をいただき、誠にありがとうございます。一期目には、理事としての職責を果たしたとは到底申し上げられず、大変申し訳なく存じております。マネ協の理事職が、これ程の重責を担う立場とは以前は想像も出来ませんでした。改めて先輩の御苦勞に思いを致したところで。

まず、私はマネ協に対してほとんど知識を持っていませんでした。存在自体や意義をきちんと引き継がず、理解もしないままにお引き受けしてしまつたのは軽率でした。ですが、御辞退も叶わないということで、逃げ出したい気持ちも隠しつつ飛び込んだ私をあたたくお迎え下さつた理事会の皆様と会員各社の皆様には深く感謝致しております。

二期目の私の抱負、それはマネ協が掲げる崇高な目的を達成する、そのほんの一助となるべく微力を尽くす。それだけです。マネージャーの社会的地位を少しでも向上させ、会員各社の皆様の利益に多少でも資することが出来たら、望外の喜びです。然し乍ら、これは、理事メンバーだけでは決して成し得ません。会員各社の皆様と議論を尽くし、企画立案を経て、実行に移す。ともに手を携えて、マネ協の隆盛を目指して参りましょう。もう一期、皆様のご批判を仰ぎます。

理事 熊野 勝弘

社会的に意義のある仕事をしている方々が若くして亡くなられた新聞の記事が載っているのを見ると、もつと長生きしてその仕事を続けてもらいたいと思う。平山郁夫さんの年齢が若いかどうかはさておいて、追悼記事を読んでこういう人こそ長生きして欲しいと思ひました。

振り返って自分を見た時、僕はこのマネ協という組織の中で何か役に立っているだろうかと思ふ。梅田理事長の時に推薦理事に選ばれてから8年になる。その間、月一回の理事会には出席していたが、自分が何か役に立つかという記憶がない。むしろ、迷惑を掛けた事業をしてしまった。この事業に関しては、深く

反省しております。

僕は今、マネ協の中で映像演劇委員会に属しているが、その小委員会には今約60名の会員がおります。僕もその一員です。この会員達とす。この会員達と一緒には我々の業界の発展の為にやれることは何だろうか考える。マネ協に入れば何かメリットがあるんですかという声も聞きます。僕は「時はそう思っております。でも組織というものは、待つても何もしてくれません。自分から参加してマネ協を動かしていく、そういう気持ちで参加していかねければと考えています。積極的にマネ協まで提案をお願い致しますと共に、僕でも何か出来るのか考えております。今日この頃です。」

理事 小林孝作

この度、理事2期目も選任頂き改めて責任を感じております。引き続き、オーディオ委員会を承りました。

昨今、社会的にもかなり厳しい時代になり、この業界も仕事や局の出入りを含め色々狭くなり大変やりにくくなりました。しかしながら、こういう時節だからこそ、我々マネ協が頑張る世の中を交えていかなければならないと強く思います。まず、業界におけるマネージャーの地位を向上させるよう、より一層頑張りたいと思っております。

理事 田寺尚和

「ランク制度堅持の重要性」

現在の経済恐慌の波は、当然のことながら番組制作の現場にもおしよせてきて、その結果、ランク制度をないがしろにした出演料がまかり通るようになってしまいました。制作側もそれなくては番組が作れないという苦しい現実はあるので、これが、このまま行くと出演料はどんどん低きに流れ、行き、例えば仕事があったとしても生活ができていないという、まさにワーキングプア以下の状況に陥ってしまいます。外国映画の吹き替え等の声の仕事でも、制作現場は同様に予算削減の厳しい状況にありますが、ランク制度が確立しており、それを堅持することで、経済的にも俳優の生活は守られています。またそこを堅持することで、スタッフ、キャストの間にも緊張感が生まれ、仕事をやる環境を良く保つ、少なくとも今より悪くしないことが出来るのだと思います。

今このような経済状況でこそ、ランク制度を堅持するためにも、関連各社、各団体と連携し、話し合いを重ねて行きたいと思っております。

理事 豊田紀雄

テレビドラマが面白かった時代、日活が「つかつ」と名前を変え、ロマンポルノの秀作を次々に量産していた時代。そこには、常に熱い会話が交わされていた。前夜観た芝居やテレビや映画の話をし、新人俳優を紹介し合ったりした。

この5年、プロデューサーやキャスティングディレクターと話すことは無くなってしまった。それどころか気軽に制作会社やテレビ局に入ることすら大変になってしまった。従って、仕事の多い事務所と少ない事務所がはつきりと区分されてきた。

我々マネ協は、この閉じられた扉をどうやってこじ開けたらいいのであろうか。私のような時代遅れの人間はもう引退して、若い優れたマネージャーに協会の将来を預けたい。そしてみんなで団結し前進して欲しい。

理事 本田太郎

マネージャーとしてもまだまだ勉強中であり、更に理事ともなれば周りは芸能界、マネ協の重鎮から先輩マネージャーばかり...

前期も理事として参加させていただいたが、それに萎縮し遠慮しすぎていた部分があった気がする。それではいけない。逆に若いといわれる立場(若輩者)だからその「怖いもの知らず」の気持ちで、思ったことや、現場の声、考えなどを届けたり、意見を上から下まで横にも幅広く風通しのいい環境をつくらなければならないと思います。

早いもので、つい最近新年を迎えたと思ったら、もう3月！私がマネ協の理事に推薦頂きこちらももう1年が過ぎようとしております。右も左も判らないまま先輩理事の方々に指導頂きながらの1年でした。主に映像・演劇委員会、対内委員会にて活動でしたが、これで良かったのかな？と反省の日々です。つい毎日の活動に追われ...

理事 水城大裕

未曾有の不況の中で芸能界も仕事量の減少、ギャランティーの安値安定など問題が沢山あります。マネ協の目的「芸能マネージメント事業者の職能的社会的地位の確立と向上を通じ、社員共通の利益に資し、以ってマネージメント事業の近代化と芸能界の発展に寄与する事」をまず第一義に、特に利益に資しうかが...

今年度はさらに今まで考えていた事、思っていた事に色々チャレンジ致し、具象化出来るように頑張る所存です。各局・各制作会社は各所で見かけたときにはどうぞお来でも(おちやけでも)とお声かけ下さい。

理事 村上 壮

新しく理事に推薦して頂き、あつと言う間に半年が過ぎてしまいました。今オーディオの担当として、町田オーディオ委員長と共に月一で実務運用委員会に出席し、外面・動画の新しいルール作りについて、話しを進めております。私は、音声連加盟の制作会社で制作を始めた事をきっかけに20年以上吹き替え業界に関わって来ました。私の経験の中でも昨今の外面・動画の制作費の削減傾向と作品本数の減少は、ほうつておけば益々深刻になって行くと思っております。

現在、実務運用委員会の他に外面振興会議も立ち上がり、マネ協・音声連・日俳連に声事協も加わり、吹き替え作品の復興に向けて話し合いが続けていますが、各業界団体が一つになって取り組んで行かないといけない重大事項です。

マネ協加盟の事業者の皆様に並びにマネージャーの皆様には、吹き替え文化を守る事にもつと関心を持って頂き、ご意見・アイデアをマネ協事務局にお寄せ下さい。そして、団体間の確執を無くし業界の繁栄に力を結集させましよう！

理事 森 甲津子

理事になり、オーディオ委員として果たして何が出来るのか？新人登録制度見直し、ランク制度、映画作品振興策、日俳連との関係等々、あまりにも色々な問題が山積みしており、世の中の変化、しかも業界自体の変化が大きく、私自身解らないことだらけです。

しかし、どんなに色んな制度が変わっても、一番大事な、人と人の繋がりが、コミュニケーションの大切さを大事にし、マネージャーが少しでも動きやすい環境を作っていく事が、マネ協の役割なのではと思うのです。正確な情報の伝達、他団体との交渉事、セミナーや説明会等、マネ協に所属していることで少しも皆が「マネージャー」として、事務所として動きやすくなったという様なお声が開ける様になれば、と願っておりますが...

理事だけのマネ協になっては、何の意味もありません。どうぞ、それぞれの小委員会に多くの方が参加なさって、色んなご意見をどしどしお寄せ下さい。

監事 岩淵佐津夫

「理事会に思う」

断りなしに遅刻することは無いのですが、出席率は最低であることを反省、と同時に恐縮に思っています。出席時、理事諸氏の暖かい瞳と、その使命を一杯感じればこそ。理事会で驚くこと、その使命の多さです。一項目、持ち時間は足りないような議題から、前回までの承認議案を含めると10項目はざらです。

伊藤事務局員が入れるお茶と、どなたかが持ち寄ったスナック菓子に手を出す間もなくあつという間のタイムリミットと言った苦勞だ。理事会便りでご理解いただいていると思いますが、それをとつても協会として、会員社並びに実演家にとつて欠かせない議題です。

仲間とお会いしては厳しい現況をなめあつての日々ですが、この時期だからこそ理事会での議案も吟味が大切だ。今年に入つて各委員会は沢山の委員に参加を頂き新しい展開が見えてきた。セミナーも見逃せない。又、映画演劇テレビのオーディション、配役の依頼、協会会員社の情熱が感じられる様な協力(元り込み姿勢こそがもつとと広がるのでは)と思っております。

期待が膨らむ理事会として委員会、次回参加するときは腹の足しに成るような手土産でもと思っております。

監事 田上起一郎

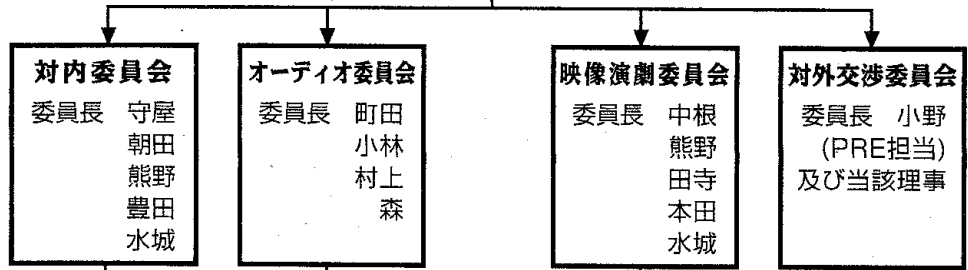
監事になり三年を過ぎるが、この一年の状況は深刻だ。マネージャーの顔色が悪い。日本経済の不況は根が深いようで、しわ寄せは芸能芸術分野に特に厳しい。その中でマネ協は、対外的にはテレビ局や制作会社等との交渉、内輪的には日俳連等との連携と対立、シビアになっていくと思っております。

それと現場からの若いマネージャーの若さ意見とエネルギーが必要だ。どんな小委員会にも参加され、中心になる位になって欲しいものです。任期中、理事の方達の真面目さ、真剣さ、熱心さには頭が下がります。しかし、もつと魅力的な団体にするには力が必要でしょう。未加入業者が入るうとするだけの力と魅力が必要でしょう。大手と小規模プロダクションがまとまっていくな、難しい問題がたくさんありますが、山崎理事長のもと前進あるのみです。

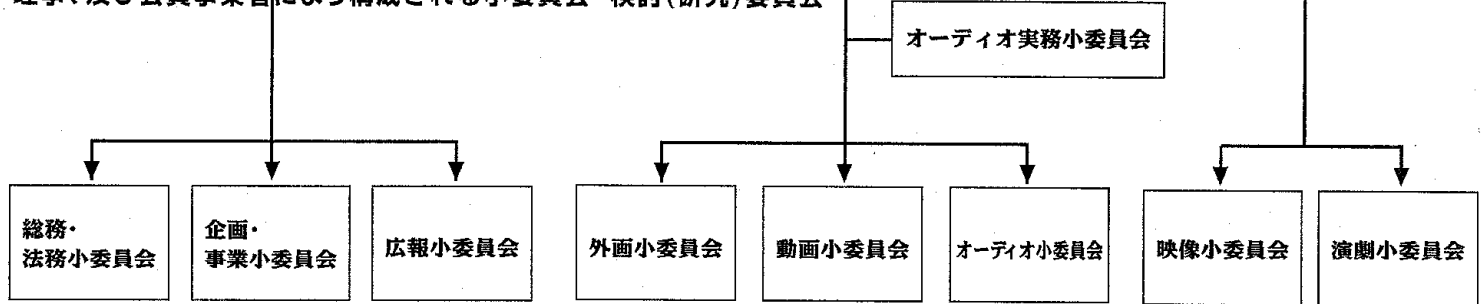
理事会内、委員会構成及び担務

理事
 理事長 山崎 讓
 副理事長 小野伸一
 朝田孝二 水城大裕
 熊野勝弘 村上 壮
 小林孝作 森甲津子
 田寺尚和 守屋俊郎
 豊田紀雄
 中根敏晴 **監事**
 本田太郎 岩淵佐津夫
 町田 泉 田上起一郎

常務会
 理事長 山崎
 副理事長 小野
 及び各委員長



理事、及び会員事業者により構成される小委員会・検討(研究)委員会

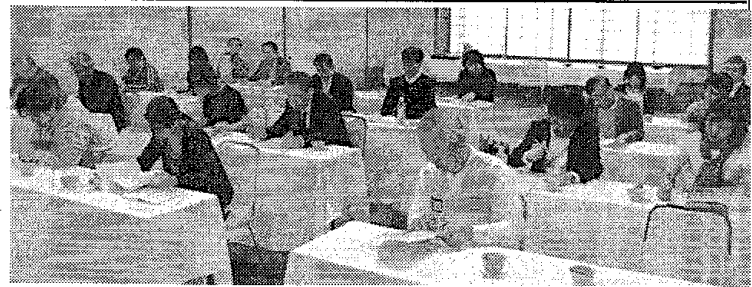


※検討(研究)委員会 (必要に応じて設置。
右は設置済み、又は予定のもの)

HP作成検討委

・隣接権研究委
 ・事務局改善検討委

研修旅行 in 熱海



研修風景 「成る程、目から鱗が…」



講師のNHK・若泉久朗氏



守屋理事(研修担当)



小野副理事長で、いつもの手締め



水城理事(研修担当)

昨年、11月8日の秋季研修旅行は、熱海の後樂園ホテルで、NHKドラマのチーフプロデューサー若泉久朗氏をお招きしてのセミナーでした。現地にそれぞれが到着後、早速セミナーが始まりました。大河ドラマや連続テレビ小説の今までの作品の流れ、又、これからの土曜ドラマや単発ドラマ等の方向性、NHKならではのドラマ作りとは何か? ——質の向上、作家や演出家の育成等々——貴重なお話が続々と……。その後は、マネージャー側からの質疑応答、「もっとオーディションの機会を与えて欲しい」等々、それに誠意を持って熱く答えて下さった若泉氏の人柄に感動!! 夕食、大展望風呂の後に、又々懇親会で盛り上がり、楽しい貴重な一日が終わりました。

森 甲津子



あるマネージャー氏のつぶやき.....

「一考察」

暖かくなってくると喜び方も多いでしょうが、僕は憂鬱になってきます。やっとなんか、ついになんか、二年前にデビューしました。はい。お察しの通り、花粉症です。涙と鼻水とくしゃみのアンサンブル。美しいハーモニーを奏でています。

辛いといえばランク制度はどうなるのでしょうか？下手にランクを持ち出すと仕事が決まり難いような…。上手くやっってはいますが。今はゾーンランクなのですが、そのゾーンの最低のところ張り付いてしまっています。交渉も何もあったものじゃありません。

ランク制度崩壊の危機ですね。この流れだとランクはなくなるんじゃないでしょうか？たとえば、金額を落としてでも最低ランクは守って欲しいですね。プライド迄無くしたくはないものです。

物は考えようで、ランク制度が残っていると、徐々にしがギヤラは上がっていかないので、一度売れてしまえばトーンとUPします。トーンとです。

売ればの話ではありますが、これが本来の姿だと思えば、却って明るい未来がもしれません。

下ばかり向いて歩いていても、小銭を拾う事が出来るくらいで、いいことはありません。胸を張り顔を上げて歩いていると、良い事が飛び込んで来そうな気もします。先ず臆より始めよ、というじゃないですが。

でも、顔を上げて入ってくるんですね…。だから僕は、花粉の季節が終わってから上を向いて歩くことにします。

(匿名氏)

マネ協 ビアパーティー開催 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆



若いマネージャー達が目立ったパーティーでした。



元理事長の梅田氏も駆けつけて下さいました。

2009年9月9日、マネ協事務局のある新宿御苑前駅のすぐ近く、中国料理店 東方一角にてビアパーティーが開催されました。

今回は来賓をお招きせず、マネージャー・スタッフの方々の親睦と意見交換などを目的に会員のみで開催され、28社54名の方々のご参加により盛会となりました。



山崎理事長のご挨拶



朝田理事の司会進行で盛り上がっています。

マネ協が社員団体として支えている映像実演権利者合同機構 (PRE) からの広報です。

<PRE報告 その13>

小野伸一 (PRE担当理事)

- 昨年8月に行われた総会で、一般社団法人への移行と定款の変更を行った。
- かねてからのマネ協の要望により、ビデオ化と番組販売の二次使用料の手数料を15%から10%に引き下げた。
これは昨年11月の分配から実施された。
- 中根理事と熊野理事がPREの広報委員として参加する事になった。
- CPRAの手数料についても引き下げるべく、CPRA運営委員会に15%の手数料の引き下げの要望書を提出した。運営委員会ではこれを了承。
来期の予算から10%にする事になった。
正式な文書による回答はまだだが、これによりマネ協の念願だったPRE及びCPRAの手数料引き下げは決定した。

「ふきカエル キャンペーン」

外画吹き替え振興プロジェクト/イラスト&ロゴ募集のお知らせ

外国映画の吹き替え放送が始まって55年……吹き替え版制作に関わる4団体(日俳連・音声連・マネ協・声事協)が団体間の枠組みを超え協力しあって実施する。

史上初! 外国映画&TV 吹き替え振興プロジェクト「ふきカエル キャンペーン」がスタートしました!!
これから、視聴者へのアプローチなどを積極的に行い、外画吹き替え版の底上げをすることが最大の目的です。つきましては、このキャンペーンのマスコットキャラクター(ふきカエル)のイラスト並びにロゴを幅広く募集いたします。下記の応募要項にのっとり、積極的に御応募いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

ふきカエル 実行委員会

「ふきカエル キャンペーン」イラスト&ロゴ 応募要項

応募方法: ハガキ又はハガキサイズ用紙にキャラクターイラストとロゴを描き、下記の宛先にお送りください。

応募メ切: 2010年5月31日

宛先: 160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F 日本俳優連合内
「ふきカエル キャンペーン」係

お問合せ: 日本俳優連合内 ふきカエルキャンペーン 担当(黒澤)

TEL: 03-5909-3070 e-mail: kurosawa@nipppairen.com

*御礼: 薄謝進呈

*イラスト及びロゴの著作権は「ふきカエル実行委員会」に帰属します。

*場合によって原画のリライトを多少行う事がございます。

以上

[マネ協・会員事業者リスト：120社/h.22年3月]

- | | | |
|-------------------------|--------------------|------------------------|
| (株)アーツビジョン | (株)キリンプロ | ネクシード(株) |
| (株)アート | 劇団グスタフ[(株)オフィスK&K] | (株)オフィスのいり |
| (株)アートプロモーション | (株)黒沢良事務所 | (株)オフィス野沢 |
| アール・エム・イー(株) | (有)ケイエムシネマ企画 | (株)ノックアウト |
| (株)アールグループ | (有)ケッケコーポレーション | ハイパーボイスマネージメンツ |
| (株)アイエス | (有)元氣プロジェクト | (有)劇団俳優座 |
| (株)アイムエンタープライズ | (有)現代制作舎 | オフィスP.A.C |
| (株)青ニプロダクション | (株)コスモスペース | (株)Pカンパニー |
| (株)アクセント | (株)オフィスコバック | (有)B-Box |
| アクターズ・カンパニー | (株)さち子プロ | LLC 平野企画 |
| (株)アクターズセブン | (株)三桂 | (有)ファイブ エイト |
| production Axel[(有)DIS] | (株)CSRコーポレーション | プランニング・メイ(有) |
| アスク・マネージメント | (株)オフィスCHK | (株)古館プロジェクト |
| (株)アズリードカンパニー | (有)ジェイ.クリップ[リベルタ] | (有)プロ・フィット |
| (株)アックトップ | (株)シグマ・セブン | 劇団文化座 |
| (株)アドヴァンスプロモーション | (株)仕事 | (株)文学座 |
| (有)アルファエージェンシー | (有)シス・カンパニー | (株)放映新社 |
| (株)E-spring | (株)ジュネス企画 | (株)宝映テレビプロダクション |
| (株)イイジマルーム | (有)スターダス・21 | (有)劇団朋友 |
| (有)イエローテイル | 劇団昴 | (株)舞プロモーション |
| 声の劇団イマージュ | 青年座映画放送(株) | (株)誠オフィス |
| (有)岩淵ぐるうぶ | (有)宝井プロジェクト | (有)オフィスまとば |
| (株)イーエス企画 | (有)田上事務所 | (有)ミズキ事務所 |
| (株)プロダクション・エース | (有)竹内事務所 | (株)メディアルタ |
| (有)エスプレイング | (有)プロダクション・タンク | (株)劇団民藝 |
| (株)エヌ・エー・シー | (株)テアトル・エコー | (有)メディアフォース |
| (株)エヌ・エル・ティー | TAG(東京アナウンス学院) | (有)オフィスもり |
| (株)エ・ネスト | (有)TABプロダクション | (株)矢島聰子事務所 |
| (株)エム・アール | (有)オフィス・ティービー | (有)山田栖峯子事務所 |
| M.M.P | (株)ディー・オー・エー | ぷろじえくと大和 |
| (有)エムカンパニー | (株)オフィス・テン | (有)惟プロダクション |
| (有)えりオフィス | (有)東京芝居倶楽部 | (株)ゆーりんプロ |
| (株)円企画 | (有)プロダクション東京ドラマハウス | (株)ヨコザワ・プロダクション |
| (有)エンパシィ | 東京俳優生活協同組合 | (有)ライターズカンパニー・田畑富久子事務所 |
| (株)大沢事務所 | (株)同人舎プロダクション | (株)ラヴァンス |
| OYSプロデュース | (株)劇団東俳 | (株)リマックス |
| 落合事務所 | トム・プロジェクト(株) | YAG(代々木アニメーション学院) |
| 劇団権 | (株)トライサム | (株)劇団若草 |
| (有)オフィス薫 | (株)トリアス | (株)オフィス・ワット |
| (有)活動屋 | (有)劇団21世紀FOX | (有)ワンダー・プロダクション |

賛助会員一覧

(2010年3月現在)

- <法人> (社)映像実演権利者合同機構
 (株)NHKエンタープライズ
 (株)オセロット
 紀伊國屋ホール
 (株)C.A.L
 (株)松竹京都撮影所
 松竹(株)
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京
 (株)東京現像所
 (株)TBSテレビ
 (社)日本劇団協議会
 日本テレビ放送網(株)
 (株)俳優座劇場
 (株)フジテレビジョン

- <個人> 山岸 伸

■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
入会の際は理事の推薦が必要です。
- 年会費は<法人> 1口 100,000円
<個人> 1口 30,000円
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

MOVEMENT REPORT

<2009年2月>

- 4日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 9日 NHK・三団体 [マネ協・劇団協・日俳優] 会議 (日俳優)
- 10日 常務会・第47回定例理事会 (マネ協)
- 12日 公演打合せ
- 13日 三団体会議 (日俳優)
- // 映像対策会議 (日俳優)
- 17日 マネ協実務小委員会 (マネ協)
- // 労災連 [芸能関連労災問題連絡会] 会議 (花伝舎)
- 18日 臨時理事会 (マネ協)
- 27日 マネ協ゴルフコンペ打合せ (マネ協)

<2009年3月>

- 2日 劇団研究所卒業生スカウトオーディション (恵比寿エコー劇場)
- 9日 第三回マネ協ゴルフコンペ (川越カントリークラブ)
- 10日 日本テレビ・三団体、会議 (花伝舎)
- 12日 常務会・第48回定例理事会 (マネ協)
- 17日 新「運用表」説明会 (花伝舎1-1)
- 19日 芸団協総会 (花伝舎1-1)
- 23日 二団体 [マネ協・日俳優] 実務小委員会 (マネ協)
- 26日 労災連会議 (日俳優)

<2009年4月>

- 3日 定款改正小委員会 (マネ協)
- 6日 選挙管理委員会打合せ (マネ協)
- 8日 定款改正小委員会 (マネ協)
- 10日 テレビ朝日・マネ協、ランク申請打合せ (マネ協)
- // 臨時理事会 (マネ協)
- 15日 定款改正小委員会 (マネ協)
- // 映像演劇委員会 (マネ協)
- 16日 マネ協実務小委員会 (マネ協)
- 23日 音声連・マネ協、会談 (音声連)
- // 第一回マネ協セミナー (花伝舎1-3)
- 27日 マネ協役員選挙、開票作業 (マネ協)
- 28日 常務会・第49回定例理事会 (マネ協)

<2009年5月>

- 8日 拡大オーディオ部会 (花伝舎1-1)
- // 臨時理事会 (花伝舎1-1)
- 11日 決算監査 (マネ協)
- 18日 声事協・マネ協実務小委員会、会談 (マネ協)
- 29日 常務会・第50回定例理事会 (NHK青山荘)
- // 第6回定時総会: 懇親会 (NHK青山荘)
- // 第1回定例理事会 (NHK青山荘)

<2009年6月>

- 10日 第2回定例理事会 (マネ協)
- 17日 実務調整委員会打合せ (音声連)
- 19日 顧問会計士打合せ (マネ協)
- 23日 臨時理事会 (マネ協)
- 25日 集団健康診断 (代々木病院健診センター)
- 26日 //
- // 映像対策会議 (日俳優)

<2009年7月>

- 7日 臨時理事会 (マネ協)
- 9日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 14日 常務会・第3回定例理事会 (テアトル・エコー)
- 21日 対内委員会 (マネ協)
- 24日 実務小委員会 (マネ協)
- // マネ協委員長会議 (マネ協)
- 29日 日俳優・マネ協、会議 (マネ協)

<2009年8月>

- 3日 第2回マネ協セミナー (花伝舎1-3)
- 5日 芸団協年金部・マネ協、会談 (マネ協)
- 6日 日俳優・マネ協、オーディオ会議 (マネ協)
- 7日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 10~14日 事務局夏季休業
- 18日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 19日 P R E 総会
- 25日 常務会・第4回定例理事会 (マネ協)
- 27日 実務小委員会 (マネ協)
- 28日 芸能人年金説明会 (花伝舎1-1)

<2009年9月>

- 4日 対内委員会 (マネ協)
- 9日 常務会・第5回定例理事会 (マネ協)
- // ビアパーティー (東方一角)
- 11日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 14日 映像情報交換のための事務局開放 (マネ協)
- 15日 実務小委員会 (マネ協)

<2009年10月>

- 1日 日本テレビ・マネ協、会議 (マネ協)
- 9日 テレビ朝日・TBS・マネ協、ランク申請打合せ (マネ協)
- // 映像演劇委員会 (マネ協)
- 13日 常務会・第6回定例理事会 (マネ協)
- 15日 映像情報交換のための事務局開放 (マネ協)
- 16日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 20日 実務小委員会 (マネ協)
- // 対内委員会打合せ (マネ協)
- 22日 日本テレビ・マネ協、会議 (マネ協)
- 27日 三団体会議 (マネ協)
- // V I P タイムズ社との会談 (マネ協)

<2009年11月>

- 4日 対内委員会 (マネ協)
- 5日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 8~9日 第11回研修旅行 in 熱海 (熱海 後楽園ホテル)
- 12日 NHK・三団体会議 (NHK)
- 13日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 17日 常務会・第7回定例理事会 (マネ協)
- 19日 実務小委員会 (マネ協)
- // フジテレビ・三団体会議 (フジテレビ)
- 24日 日俳優・マネ協、会議 (マネ協)
- 26日 対内委員会 (マネ協)

<2009年12月>

- 2日 映像演劇委員会 (マネ協)
- 4日 外画振興策検討会議 (日俳優)
- // 対内委員会 (マネ協)
- 8日 映像情報交換のための事務局開放 (マネ協)
- 9日 TBS・マネ協、会議 (TBS)
- // 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 16日 常務会・第8回定例理事会 (テアトル・エコー)
- 18日 実務小委員会 (マネ協)
- 22日 臨時理事会 (マネ協)
- 28~1月4日 事務局年末年始休業

<2010年1月>


- 6日 P R E・マネ協、会談 (マネ協)
- 18日 日俳優・声事協・マネ協、会議 (日俳優)
- 19日 第9回定例理事会 (マネ協)
- // 新年会 (ベニーレベニーレ)
- 25日 NHK・三団体会議 (日俳優)
- 27日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 28日 実務小委員会 (マネ協)

<2010年2月>

- 1日 臨時理事会 (マネ協)
- 5日 日俳優・マネ協、会談 (マネ協)
- // 外画振興策検討会議 (音声連)
- 10日 スカウトオーディション打合せ (マネ協)
- 15日 TBS・マネ協、会議 (マネ協)
- // 三団体会議 (日俳優)
- 17日 実務小委員会 勉強会 (マネ協)
- 23日 税務調査 (マネ協)
- 24日 常務会・第10回定例理事会 (マネ協)
- 25日 音声出演実務調整委 運用委員会 (音声連)
- 26日 実務小委員会 (マネ協)
- // 日俳優・マネ協、会談 (マネ協)
- // 外画振興プロジェクトIT委員会 (音声連)

☆ マネ協新加入事業者の紹介

株アートプロモーション



代表者 社員代表
高橋正二 同左

〒107-0052
港区赤坂9-6-23赤坂葵ビル602
TEL. 5775-1062 FAX. 5775-1063

株アールグルッペ



代表者 社員代表
佐々木英人 同左

〒160-0022 新宿区新宿1-7-10
グランドメゾン新宿御苑811
TEL. 3225-1833 FAX. 6457-4587

株エヌ・エル・ティ




代表者 社員代表
小川 浩 大澤詩穂子

〒160-0007
新宿区荒木町23鈴商ビル3F
TEL. 5363-6041 FAX. 5363-6042


株ジュネス企画




代表者 社員代表
高倉邦子 川本 歩

〒106-0031 港区西麻布
2-24-37 GCビル1~3F
TEL. 5469-5331 FAX. 5469-1794

株トリアス



社員代表 社員代表
奥村 彰 同左

〒132-0031
江戸川区松島2-37-11
TEL. 3674-5055 FAX. 3674-5055

株誠オフィス




社員代表 社員代表
亀 和夫 山崎早史

〒104-0031
中央区京橋3-3-2
TEL. 3548-9007 FAX. 3548-9008

株メディアルタ




社員代表 社員代表
栗山正志 同左

〒107-0052
港区赤坂8-12-25 #502
TEL. 5413-2501 FAX. 5413-2502

ぷろじえくと大和



社員代表 社員代表
古賀優子 同左

〒187-0022 小平市上水本町5-20
-2クラウンガーデン武蔵野211
TEL. 042-326-5338 FAX. 042-326-5338

編 集 後 記 ◆編集会議メンバー: 守屋俊郎、朝田孝二、熊野勝弘、豊田紀雄、水城大裕、伊藤 信

お待たせしました。ようやく本誌発行の運びとなりました。今までは広報委の業務でしたが、改組に伴い今回からは対内委の業務に移りました。取り組むべき業務が他に比して非常に多い対内委ですが、会員の皆さんは実利的な映像・演劇委とオーディオ委に二分され、残念にも団体活動の下支えを行う対内委へは一人の参加もないことで手不足は否めず、今後の運営に少なからぬ不安を抱えています。本誌の定期発行と内容の充実を図る上でも会員の皆様の対内委への参加を切望します。(守屋)